

「数理科学」2019年7月号

志賀啓成著，連載「例題形式で探求する複素解析の幾何学」第14回

「双曲幾何学とリーマン面(2)」正誤表

P. 73，最後の行の「 $f(z) = z + c$ ($c \in \mathbb{C}$)」から P. 74，2行目の「可換となる。」までを以下のように訂正

$$f(z) = az + b \quad (a, b \in \mathbb{C}, a \neq 0)$$

の形である．次回みるように(例題 15.1)， Γ_X の恒等写像以外の元は $\tilde{X}(= \mathbb{C})$ 内に固定点を持たない．よって， Γ_X の元は上の f の形で $a = 1$ でなければならない．つまり， $z \mapsto z + b$ の形の変換のみからなる．このような変換どうしは明らかに可換であるから， Γ_X 可換になる．